

このほか、組織間の関係強化を図るために、GDN-Japan から EADN 年次会合に関係者を派遣し、情報を共有していくなどの確認もされました。なお、上記 UNDP 人間開発報告書東アジアコンサルテーションにはタイから同じく EADN のメンバーである、Dr. Sussangkarn Chalongphob, Distinguishes Fellow, Thailand Development Research Institute (Former Minister of Finance)も参加しました。

【news etc.】

▼GDN 理事会で、ビジネスプランなどについて議論

2012 年最初の GDN 理事会がインド・ニューデリーで開かれました。「GDN ビジネスプラン」「モニタリングと評価」「今後のスケジュール」などを主な議題として、ジェラルド・デラ・パオレラ会長をはじめ、GDN 事務局、理事メンバーを交えて議論が行われました。

「GDN ビジネスプラン」では、途上国のリサーチ・キャパシティーを育成するというビジネスプランに沿って、Research Capacity Building Program(RCBP)を核に、活動を再構成することが確認されたほか、ネットワーク間の連携強化や、国際開発賞のビジネスプラン上の位置づけを明確にすることなどが確認されました。また、「モニタリングと評価」では、これまで行われてきた、過去の国際開発賞(Award)受賞者のフォローアップ調査の結果が近日中に報告されることも確認されました。

今後のスケジュールについて、6 月にハンガリー・ブタペストで開かれる第 13 回年次会合についてのほか、次々回の年次会合の開催スケジュールについて議論が行われました。具体的な開催期間として、2013 年 11 月～2014 年 2 月の中での開催が報告されました。

▼2011 年国際開発賞コンペティションのファイナリストは 4 月に発表予定

6 月 16 日～18 日にハンガリー・ブタペストで開かれる年次会合で開かれる国際開発賞コンペティションへの応募が 1 月 31 日に締め切られ、現在当賞選考委員らによってファイナリストの選考が行われています。選考結果は 4 月に発表される予定で、選ばれたファイナリストの方々は年次会合内で最終プレゼンテーションを行った後に授賞式で順位が発表されます。我が国では、2003 年に開かれた第 4 回エジプト・カイロ年次会合以来、国際開発賞の最終選考委員を務めるなど当賞に貢献しています。

参考資料: [国際開発賞への貢献](#)



▽次回は 2012 年 5 月下旬に配信予定です。

▽ご意見、ご感想などをお聞かせください。

ditrn-gdn-japan@jica.go.jp

▽お問い合わせ、配信先の変更・解除はこちらまでお願いいたします。

ditrn-gdn-japan@jica.go.jp



発行：GDN-Japan 事務局 (JICA 研究所 企画課内)

制作：JICA 研究所 企画課 編集・発信ユニット

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 研究所内

<http://www.jica.go.jp/gdn/japanese/index.html>